



病気を治すには ふたりのドクターが必要です。

病気を治すためには、獣医さんと飼い主さんの
チームワークが治療のカギとなります。

ワンちゃん・ネコちゃんを間近で見守る

飼い主さんは、まさに「もう1人のドクター」。

コンベニア®注を選んだあなたは、

大切な家族のためにもう1人のドクターとして

確実な処方を選択されたのです。コンベニア®注の投与後も

病気が完治するまで、しっかり経過を見守りましょう。

コンベニア®注で症状が改善されても 再来院してください。

コンベニア®注の投与後にワンちゃん・ネコちゃんの症状に改善が見られても、

本当に完治したかどうか獣医さんによる確認が必要です。

再発を避けるためにも、再来院してください。

コンベニア®注の投与記録

コンベニア®注の投与日 月 日 再来院日 月 日

気になること

※コンベニア®注の投与後、異常が見られた時はすぐに獣医さんに相談しましょう。

飼い主さんは、
もう一人の
ドクターです。

あなたの大切な
家族のために
ベストな治療を
考えましょう。



飲み薬による治療は 処方を守ることが何より大切。



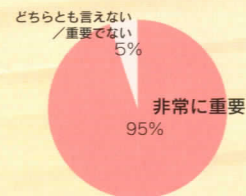
抗菌剤は、時間どおり飲ませないと 役目を果たせません。

ワンちゃん・ネコちゃんが1度かかると長引いてしまうこともある細菌感染症。完治するまでに1ヵ月以上かかる場合もあります。その間、愛する家族の一員が苦しんでいる姿を目にするのは、飼い主さんにとっても辛いこと。有効な治療として抗菌剤がありますが、飲み薬の場合は、獣医さんの処方を守り「決まった量を決まった時間」に飲ませないと、効果が減少してしまいます。

処方を守る重要性について

95%の獣医さんが、確実な投薬を非常に重要と考えています。

Q: 抗菌剤治療を行う場合、経口投与で確実に投薬することはどの程度重要と思われますか？



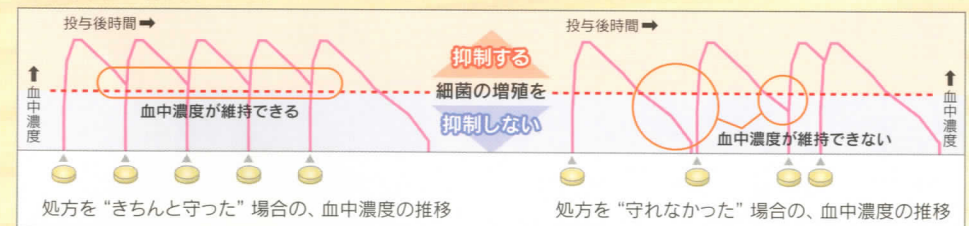
※グラフ内の数字は、犬/猫に対する調査結果の平均値です。
[2007年4月 弊社調査]



薬の飲み忘れや飲み残しが 治療の失敗につながります。

下のグラフからもわかるように、投薬の間隔が空いてしまうと効果が中断されてしまいます。その結果、治療の遅れや再発などワンちゃん・ネコちゃんに余計な負担を与えかねません。

● 経口薬の作用 (モデル図)





でも、忙しい暮らしの中では
「処方どおり」がむずかしい時も…。

お薬を飲ませるのって、意外と大変。

お薬を飲ませることは、飼いさんにとって根気と忍耐が求められます。「毎日2回、時間どおりにお薬飲ませないと!」と頑張っている、日々の暮らしはハプニングがいっぱい! 思うように投薬ができないこともたくさんあるでしょう。



家族の世話に
追われる時も



抵抗して
飲んでくれない



おくすり飲むの
きらいなの

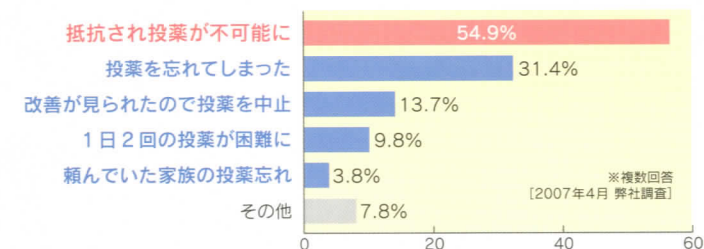


飲んだふりが
じょうず!

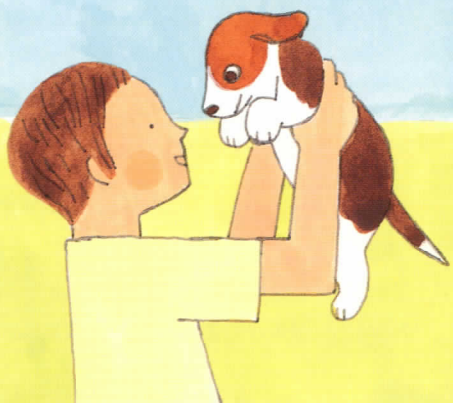


残業で遅くなって
しまいそう

それだけでなく、飲み薬がきらいなワンちゃん・ネコちゃんも多いはず。現に飼いさんへのアンケート調査で処方が守れなかった理由として、時間どおり飲ませようとしても「ワンちゃん・ネコちゃんが抵抗して投薬が困難だった」という回答が半数を上回りました。



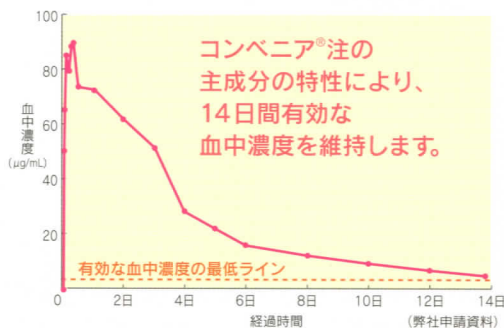
大切なのは、ワンちゃん・
ネコちゃんを守る確実な治療…



コンベニア®注なら 1回の注射で14日間効果が持続!

獣医さんによる 安心の治療コースです。

コンベニア®注—それはワンちゃん・ネコちゃんの
ために新しく開発された抗菌剤の注射。
1回の注射で14日間効果が持続するため
経口剤のように投与の状況に左右されない、
獣医さんによる確実な処方です。



コンベニア®注について、もっと知りたいこと。

Q 1回の注射で、どのくらい改善するの？

A 症状にもよりますが、コンベニア®注1回の
投与で、細菌性皮膚感染症の犬・猫に対し、
高い有効性が認められました。
ただ、病気によっては、他のお薬との併用が
必要な場合もあるので、獣医さんの指示を
しっかり守りましょう。



Q 注射は、痛くないかしら？

A コンベニア®注は水溶液剤で、
"注射部位への刺激が少ない"のが特長。
投与後は速やかに吸収され、局所への
安全性にも優れているため、
ワンちゃん・ネコちゃんにとって
やさしいお薬といえます。



Q 副作用とかアレルギーの心配は？

A コンベニア®注が14日間有効だからといって、副作用の
リスクが増えるわけではありません。犬・猫各600頭以上の
試験で、高い安全性が確認されています。まれに食欲減退や
下痢などの症状が起こる場合もあるので、その際は獣医さんに
相談してください。また、過去に抗菌剤でアレルギーを
起こしたことがある場合も、必ず獣医さんにお伝えしましょう。



経口薬



コンベニア®注
cefovecin



1日2回、時間どおりの投薬から解放。

愛情を注ぐ時間が増え ケアに専念できます。

つらい病気に苦しむワンちゃん・ネコちゃんにとって、
飼い主さんの愛情はいちばんの慰め。投薬の負担から
解放される時間をワンちゃん・ネコちゃんと向き合う時間や
ケアにあてられるのも、コンベニア®注のうれしいポイントです。

